

# 町内の菓子店を事業継承 協力隊OBによる新しい菓子店の挑戦！

実施主体：中野商店（枝幸郡中頓別町中頓別28-11 電話：01634-6-1065）

## 【中頓別町中頓別地区概要】(令和3年4月1日現在)

- ・人口 1,132人 ・世帯数 624世帯
- ・年齢構成 0～14歳 109人 15～64歳 562人 65歳以上 461人

## 取組内容

【地域おこし協力隊から株式会社ナカノ代表取締役へ】

- 中野さんは、2015年に中頓別町地域おこし協力隊として移住し、2年目の2017年に、地元商工会の方から町内の老舗菓子店「とらや」が廃業になる話を聞き、故郷には戻らず、中頓別町に残り、事業を継承することを決意しました。
- 協力隊3年目の年は、協力隊活動の傍ら、店主から「とらや」のお菓子作りを学び、地元の方々の協力を得ながら店舗の改修を行いました。

## 活用した支援策

町：地域おこし協力隊起業補助金

## 「とらや菓子店」が「中野商店」としてリニューアルオープン！

### 取組のポイント①

安定した売上を確保するには、**リピーターを増やしていく**ことが必要だと思い、日替わり商品の販売をはじめ、**Instagramを中心に情報発信**を行いました。

Instagram：

<https://www.instagram.com/nakanosyoten>



### 取組のポイント②

隣町から中頓別町に来るだけでも時間が掛かるので、お店のことを知らない。知っていても、行く機会が無い。といった声を聞くようになった。

それならばと、**直接現地に赴き、会話をしながらPR**しようと考えキッチンカーを購入！パターチキンカレーの販売を開始しました！



## 実績・効果

○観光客をメインターゲットとせず、地域密着型の営業を続け、**コロナ禍で地元のお祭りが中止になり少しでも地域の方にお祭り気分を味わって欲しく、屋外でお祭りメニューを提供するなど周りの人を巻き込みながら運営し仲間の輪が広がりました。**

○物販カーでの加販売が口コミで広がり、町外の方にも利用してもらえるようになりました。



## 苦労・課題

- 中頓別町は人口1,600人の町。中頓別町だけでは商売として成り立たないので、宗谷全体で考える必要がある。
- 宗谷に来たいと思ってもらえるような、宗谷のソウルフードや宗谷を代表する銘菓を作りたいと考えている。

## 元気なふるさとづくり研究会委員から

- 地域おこし協力隊に参加して自分の人生が変わり、地域が変わるといふ大きな転機となったと言える。
- 自分から出向いて商売をすることは重要であり、これまでとは違う方向での取組である。
- 宗谷の原産品を使用するなど、こだわりを持って**、これからも取組んでいただきたい。

## プレゼン者から一言



株式会社  
ナカノ  
代表取締役  
中野 巧都 氏

宗谷が今よりもっと魅力的に住んでいる人たちがもっと誇りを持てるよう、中頓別から魅力づくりをがんばります～